日本維新の会
京都市会議員
発行元 宇佐美賢一事務所
〒606-0953 京都市左京区松ヶ崎海尻町14-9 携帯:090-6322-3441
ファックス:075-712-3810 メール:info@usamikenichi.jp
R4年11月号

宇佐美賢一（うさみ） 市会だより

京都市は破綻するのか黒字なのか。結局どうなのか。

宇佐美賢一は、平成27年の初当選以来、「京都市一般会計は毎年の帳尻が100億円規模であっておらず（実質赤字）で将来へツケの先送り状態であり行財政改革が必要」である旨を度々議会で指摘してきました。

今回のコロナ禍で、京都市は、市税収がリーマンショック並みに急速に減少する予測をし、このままでは令和8年度に破綻するかもしれないと突然に表明。いままではっきりと示してこなかった実際の収支状況も前面に押し出して広報。その結果、これまで毎年100億円規模で一般会計が実質赤字であったことも市民についに明らかになりました。

ところが、蓋をあけると、**令和3年度は業種によって企業業績が好調であったこともあり京都市の市税収入は減らずに逆に微増**となり、また国から特例的に全国の自治体に資金が渡されたこともあって、特異な収支状況になりました。

結果、令和8年度に枯渇すると予測もしていた公債償還基金（市の借金の返済時期に向けて毎年計画的に積み立てておく資金。これを予定通り積み立てずに毎年逆に取り崩しているのが現状で、そのツケは今後の返済時にいっきに市民に重くのしかかる。）は逆に増え、市長は、破綻を回避した旨の発言をするようになったわけです。

しかし、今回の特例的な国からの資金がなければ、コロナ前の100億円規模の実質赤字状態に変わりはなく、来年度以降、やはり実質赤字は続く見込みです。それでは、将来世代へツケの先送り状態にかわりはありません。京都市役所も、今回の一件で、タガが外れた放漫財政の弊害が身に染みたと思いたいところです。京都市持続可能な行財政審議会の答申で「他都市と比較すると、依然として、人件費は171億円（令和元年度決算）高く、本市の収支バランスが不均衡となっている要因の一つ」と指摘されている人件費について、**令和2年度からはじまった市職員給与カットは去る10月31日をもって既に一部終了し、課長級から局長級までのカットも次の3月末で終了する見込みです。**引き続き、行財政改革に向けて声をあげてまいります。

門川市長へ問う！

宇佐美賢一が代表質問に登壇します

令和4年12月1日（木）
午後3時頃から約20分程度、
KBS京都テレビで生中継されます。
京都市会ホームページにて、
オンライン中継もあります。 京都市会 検索

身近なお声を丁寧に

たくさんのお声を有難うございます。

松ヶ崎東通の歩道拡幅

生年月日 昭和45年10月11日
家族構成 妻（旧姓:今本）と子ども2人

平成 6年	京都大学法学部卒
平成 6年	三菱重工業入社
平成17年	㈲ウサミ商会 代表取締役
平成22年	行政書士開業
平成27年	京都市会議員選挙 初当選
平成31年	京都市会議員選挙 2期目当選

・京都府行政書士会 第4支部 会員
・左京消防団 松ヶ崎分団
・京都市左京ジュニア消防団
・松ヶ崎小PTA会長（平成24年度）
・下鴨中PTA会長（平成28年度）

市会議員 宇佐美 賢一 LINE公式アカウント ご登録お願いします。

市政相談のお知らせ
市政相談を随時受け付けております。
090-6322-3441
までご連絡をお願いします。

小学校と同様の温かくて美味しい
中学校全員給食
の実施を実現しよう！

京都市立の東山開晴館や京都大原学院など施設一体型小中一貫校では既に実施されています。

バックナンバーはホームページをチェック！
宇佐美賢一 検索 http://usamikenichi.jp

豪雨での災害に備えるため白川での定期的な河床掘削へ前進

白川に代表されるように左京区では昨今の豪雨によって大量の土砂が流下し堆積、溢れ出す被害が懸念され実際に発生もしています。そこで、川の土砂を定期的に取り除くことが地域からも要望されていました。川の土砂に関しては、高度経済成長期に事業者が土砂を取りすぎて堤防や橋げたが弱くなるなどの問題があって採取禁止とされてきました。

しかし、これほど土砂が堆積することもあり、土砂が必要な民間事業者に条件付きで土砂の採取許可を与えるなどし、たまる前に定期的に河床掘削する手法を検討するよう京都市に提案してきました。

今回、府と市が調整をおこなった結果、白川沈砂池や岡崎の疎水との合流点等で民間事業者の活力を活かした河床掘削を目指すこととなりました。一歩前進です。さらに、今後は一乗寺等の河川の沈砂池へも同じ手法を広げることを提案しているところです。また、根本的な原因である山からの土砂の流出についても砂防を所管する府に対し、市から対応を強く求めるよう指摘していますが、引き続きフォローしてまいります。

昨年土砂の撤去作業中の白川沈砂池

一乗寺にある沈砂池

松賀茂公園予定地の都市計画見直しについて

松ヶ崎にある松賀茂児童公園は西側の約3分の1は既に公園となっていますが、旧京都市松賀茂苗圃跡地である東側の約3分の2（約1000坪）が未開園となっています。

苗圃は平成8年の閉鎖まで京都市の公園や街路樹に植える草木を育てるために京都市が公園予定地を長年にわたり利用し運営していたものです。西側は今後も公園のままですが、東側について京都市は売却を含め活用するため、都市計画の変更（公園計画を廃止）手続きをしようとしています。京都市は、「財政が厳しいので活用します。東側を公園にしなくても隣にある私立学校に緑があるので足りています。」という趣旨の説明を住民説明会で繰り返しています。今回、決算特別委員会総括質疑で、市長・副市長に対して、そんな説明が地域住民に理解されるのかと苦言を呈しました。もともと区画整理事業で当時の地権者が土地を出し合い公園にする予定だった土地であり、松賀茂児童公園が都市計画決定したのは昭和31年。そのときに9つ児童公園が都市計画決定していますが、あとの8つはとっくに開園しています。ここだけ開園しなかったのは、京都市が苗圃として使っていたからです。

平成8年に苗圃を閉鎖したときに、ちゃんと片付けさえしておけば20年間も雑然とした状態で放置されることなく開園できていたはずです。今まで開園できなかったのではなく開園しなかったのであり、この問題の本質は京都市の始末の悪さだと指摘。仮に今後進めていくとしても、例えば東側の開園部分をリニューアルするとか、未開園部分について今生えている樹木をいかして少し公園を拡大する提案をする等、住民のご意見があるので何がいいかはわからないが、汗をかいて地域に理解してもらう努力を京都市はすべきと忠告しました。副市長から、「何ができるのか考えてまいりたい。地元の皆様にご理解いただける努力をしてまいりたい。」旨の答弁がありました。京都市は地域のビジョンとメリットを示すべきと考えます。引き続きフォローしてまいります。

旧統一教会等による被害の救済・防止を求める国への意見書が可決

京都市会本会議にて、旧統一教会等による被害の実態把握と被害者救済への法整備、自治体の相談体制強化への予算措置、旧統一教会と政治家の癒着を究明し国民への説明責任を果たすこと、また、若い世代が被害に遭わないための周知啓発の4点を国に求める意見書が賛成多数で可決し、市会議長名で即日国へ提出されました。